



## 2020年総括

### 理事長 小坂橋 俊哉

2020年は新型コロナウイルス感染症という厄災に見舞われた1年でした。ロックダウンや緊急事態宣言、3密という聞きなれない用語が飛び交い、誰も経験したことのない事態に、会員の皆様も翻弄されたことと思われます。本原稿を執筆している2020年12月末の状況は、第3波の最中にあり一部の地域では医療崩壊も生じています。このような中、会員各位には通常医療に加えて新型コロナウイルス感染症患者への対応に奮闘していただいていることに、心から敬意とともに御礼申し上げます。日本麻酔科学会ではCOVID-19対策特別委員会を立ち上げ、麻酔科医の感染予防を主眼に種々の提言を行ってきました。COVID-19陽性患者もしくは疑い患者に対する手術時の感染対策Case Reportを見ると、第3波を迎えた頃から緊張感がやや低下していると思われる事例もあり、感染予防への取り組みの再確認をお願いいたします。

2019年以降、大学病院の麻酔科教授に関する報道が相次ぎました。日本麻酔科学会として調査特別委員会を立ち上げた事例もありますが、検察や警察が捜査中の案件では、司法判断の結果を待ってから学会として公式の見解を発信することになります。ご理解のほどお願いします。ただし、報道されている情報が真実であった場合には、そのような行為は到底許されるものではなく、まことに残念と言わざるを得ません。会員の皆様におかれましては、引き続き高い倫理観を持ち、各人が責任ある行動をとっていただけますようお願いいたします。

2回目になる日本専門医機構認定麻酔科専門医の更新は順調に審査が行われています。2018年に日本専門医機構のプログラムで研修を開始した専攻医が機構専門医の受験を2021年に予定している中、2020年の日本麻酔科学会専門医試験は新型コロナウイルス感染症の影響から、実技試験を指導医による評価表を用いた実技評価に変更しました。専門医の質を担保する観点から、口頭試験も含め疑義が生じた受験生に実地試験を行うことにした結果、例年よりも実地試験対象者が大幅に増加することになり、受験生やそのご施設、試験官には大きな負担を強いる結果になりました。一方、12月になって、日本専門医機構のプログラムで研修を開始した専攻医一期生が専門医の更新を行う2026年を目途に、更新試験を導入することと、連携プログラムによって専攻医時代に地方で勤務された先生の不公平感を払しょくすることや医師の地域偏在是正目的で、新規に専門医を取得した方に医療過疎地域での勤務を求めたことを日本専門医機構理事会が決定しました。詳細は今後の議論次第で変更される可能性はありますが、日本麻酔科学会として、

試験方法はe-Learningに類するものにすることや医療過疎地域での勤務を努力義務にするなど、柔軟に運用できるよう機構と協議しております。

2020年の学術集会については、第67回学術集会のウェブ開催への変更と全支部学術集会の中止を決定いたしました。2021年は第68回学術集会のハイブリッド開催と支部学術集会のウェブ開催を決定しております。第68回学術集会では廣田和美会長のご発案でMedically Challenging Casesというセッションを設け、症例報告を英語で発表する新たな試みを導入しましたが、一般演題の応募数の減少には歯止めがかからない状況です。その一因は、年次学術集会では一例報告を採用しないことに加えて、研究発表に倫理審査を義務付けたことにあると思われます。今回設けたMedically Challenging Casesは一例報告を復活させたことと国際化を視野に英語での発表機会としたことに大きな意義があると考えます。一方、たとえ後ろ向きであっても倫理審査が必要なことは避けられないことであり、今後の学術集会において、研究開始時の手続きを中心とした教育講座などの機会を設ける必要性を感じています。

国際交流関係では、World Federation of Societies of Anaesthesiologistsの役員改選が行われました。日本からは、Councilメンバーに稲田英一前理事長の後任として齋藤繁副理事長が立候補し当選しました。その背景には、各国への支援依頼が奏効したことに加えて、日中韓の協力関係が強固であったことが挙げられ、アジア地区ではこの3か国の候補者が当選となりました。このほか、各種設けられているCommitteeに山蔭道明先生と天谷文昌先生が新規に就任し、角倉弘行先生と蔵谷紀文先生は再選されました。

最後に、日本麻酔科学会は公益法人であることから麻酔科医のための活動に制約があり、さらには外部団体と様々な折衝を行うことの重要性から、5名の理事長経験者が中心となり、この度、一般社団法人日本麻酔科医会連合が設立されました。日本麻酔科学会は団体としてこれに入会することを理事会で決定いたしました。このような医会は全ての基本領域学会が有しており、理事会の意向を受けた別動隊の活動を担っていただくことによって、今後の麻酔科医、日本麻酔科学会の基盤の安定化に寄与することが期待されます。

理事長任期も残り少なくなりましたが、引き続き、ご支援、ご協力をお願いし、2020年総括にさせていただきます。



## 2021年度

# 第11回 定時社員総会の 開催について

2021年度 第11回定時社員総会を以下の通り開催いたします。

### <開催概要>

- ▶日時：2021年6月2日(水) 14時00分開会
- ▶場所：神戸ポートピアホテル南館  
ポートピアホール 第1会場
- ▶議案：第1号議案 2020年度庶務報告に関する件  
第2号議案 2020年度事業報告に関する件  
第3号議案 2020年度会計報告に関する件  
第4号議案 定款施行規則等の制定・改廃に関する件  
第5号議案 2021年度社員等に関する件  
第6号議案 その他
- ▶出席者：2019年度2020年度代議員

【注意】2020年度に実施された選挙で選任された方は、出席対象ではありません。

※総会終了後に、第5号議案で承認された名誉会員の推戴式、ならびに学会賞授与式を執り行う予定です。  
※詳細に関しましては、会員専用ページでご確認ください。

## 第68回学術集会について

日本麻酔科学会第68回学術集会 会長  
弘前大学大学院医学研究科麻酔科学講座・教授 廣田 和美

第68回学術集会は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の終息が見込めないため、ハイブリッド開催とさせていただきます。つまり、現地開催とWEB開催の併用となります。現地開催期間は、当初の予定より1日短くして、2021年6月3日(木)～4日(金)の2日間とし、神戸ポートピアホテル並びに神戸国際展示場で行います。現地開催以外のWEB配信企画と現地企画の一部を録画したものをWEBで配信し、配信期間は6月5日(土)～7月9日(金)を予定しております。

海外招待演者は、各国でのCOVID-19の状況が不透明ですので、一律招聘しないこととし、今年と同様に録画ファイルを事前に送っていただき、WEB配信とする予定です。また、会場での3密を避けるために、大会規模を通常の1万人ではなく5千人規模となるように、一般演題は基本WEB開催とし、麻酔科領域講習は行わず、専門医共通講習のみを現地で行うことで、会場だけでなく、地域住民から苦情の多かったポートライナー駅での混雑も軽減する予定です。

初めてのハイブリッド形式の学術集会となりますが、予定通り「百寿社会と麻酔科医」をメインテーマとして、会長企画を始め、各ワーキンググループも鋭意企画を作成しております。また、会長企画の1つに、麻酔科領域では女性医師の占める割合が他領域より高いことから、「女性麻酔科医の働き方改革」を企画として取り上げました。テレワーク活用推進による女性の就労支援に取り組んでこられた野田聖子

議員をお招きし、基調講演、シンポジウムをWEB配信で企画しております。

昨年12月1日正午に締め切りました一般演題応募総数は546題となりました。応募いただきました皆様方に、心より御礼申し上げます。ただ、一般演題の応募総数は、第63回学術集会を境に急激に減少しており、今回は一例報告でも応募可能なMedically Challenging Cases(MCC)のセッションを設置して減少に歯止めを掛けようとしたが適いませんでした。ただし、MCCへの応募演題数が55題ありましたので、MCCがなければ500題を切ってしまうと思いますから、一定の効果はあったと思っております。しかしながら、1万3千人以上の会員数がありながら、MCCを除く応募演題が500題に満たないと言うのは、非常に寂しい限りです。第69回学術集会では、V字回復することを祈っております。

会員の皆様におかれましては、日常業務に多忙な日々をお過ごしのことと存じます。期間中は可能な方は神戸にご参集いただき、お時間のない方は是非WEBでの参加をお願い申し上げます。

尚、本学術集会の事前予約、専門医共通講習、共催セミナー等の各種お申込みに関する情報や学術集会の詳細に関しましては、第68回学術集会学術ホームページ<<https://anesth-68thmeeting.org/>>をご参照ください。随時更新してまいります。どうか宜しく願い申し上げます。

## 2021年度 第60回麻酔科専門医認定試験開催予定について

### 第60回麻酔科専門医認定試験

※実技試験については、2020年度と同様の評価表を用いる方式で実施予定。(2020年度第3回常務理事会にて決定)

#### 開催予定日

筆記試験 2021年10月24日(日)

口頭試験 2021年10月27日(水)～31日(日)

※各試験の実施日については、受験人数により調整の上決定します。

#### 試験会場

筆記試験会場 東京会場・神戸会場で実施予定

口頭試験会場 1会場(神戸会場のみ)で実施予定

各回の専門医認定試験会告は、各年4月1日に学会HPへ掲載予定です。



# 第68回 学術集会参加者へのご案内

## 1. 参加方法

第68回は2種類の参加方法がございます。詳細案内は当ホームページに掲載いたします。

### 神戸会場・現地開催への参加

- 現地開催期間：2021年6月3日(木)・4日(金)
- 事前予約期間：2021年2月15日(月)～5月20日(木)  
※宿泊サイト・託児所開設は同時期に行います
- 申込方法：完全事前予約制※来場者数(上限：5000人)
- 参加費：会員15,000円/非会員17,000円

現地開催(神戸会場)において**参加登録をされた参加者**は現地開催終了後に、オンデマンド配信企画(WEB開催分)を閲覧出来ます。

### WEB開催への参加

- WEB開催期間：2021年6月5日(土)～7月9日(金) (予定)
- 申込方法：WEB開催期間中、随時WEB上での決済後に閲覧可能
- 参加費：会員17,000円/非会員17,000円

## 2. 《神戸会場》完全事前予約制について

2021年開催の第68回学術集会は、神戸会場開催とWEB開催を合わせたハイブリット開催です。2021年2月15日(月)より《神戸会場》参加者へ向けた事前予約を実施しております。感染症対策を講じるため**完全事前予約制(上限：5000人)**とさせていただきます。

### 事前予約期間

クレジットカード決済期間：2021年2月15日(月)正午～2021年5月20日(木)  
コンビニ決済期間：2021年2月15日(月)正午～2021年4月27日(火)

### 対象者

6月3日(木)・4日(金) 神戸会場来場者

### 《神戸開催》参加費

会員15,000円/非会員17,000円

### 《神戸開催》事前予約可能な講習・セミナー/金額

日本専門医機構認定共通講習：1,000円/講習  
神戸開催共催セミナー：無料

### 支払い方法

#### 1. クレジットカード

クレジットカード(VISA、MasterCard、JCB、AMEX、Diners Club)でのお支払いが可能です。海外で作成されたクレジットカードの場合、お支払いいただけない場合があります。クレジットカードによるオンライン決済を選択した場合、クレジットカード情報の入力欄が表示されますので、必要事項を入力し、確認画面で金額などを確認のうえ決済をお進めください。

#### 2. コンビニ決済

コンビニ決済(セブンイレブン、ファミリーマート、ローソン、ミニストップ、デイリーヤマザキ・ヤマザキデイリーストア、セイコーマート)をご利用いただけます。コンビニ決済を選択した場合、申込完了時に送信される電子メールに払込票番号とコンビニ別の支払い方法が記載されています。これらの情報を必要に応じて印刷し、お申込みから10日以内にお支払いください。

## 3. 宿泊予約期間

一次募集 2021年2月15日(月)～4月23日(金)

二次募集 2021年4月27日(火)～5月19日(水)

上記期間に表示される第68回学術集会ホームページ内、特設宿泊サイトよりお申込みください。

### 宿泊予約問い合わせ先

株式会社JTB 西日本MICE事業部 「日本麻酔科学会第68回学術集会」係  
E-mail: m\_yoshimaru003@jtb.com

営業時間：9：30～17：30(土・日・祝祭日は休業)

※感染症対策を講じたうえで神戸開催に向けて準備を進めています。政府からの緊急事態宣言等が発令された場合や、県・自治体からの自粛要請があった場合にはやむを得ない場合も考えられます。その際には別途対応等を検討し、ご案内いたします。

### 注意事項

- 日本専門医機構認定麻酔科領域講習はe-Learningのみで2021年8月以降に1年間配信いたします。(抄録は例年通り、抄録ページに掲載いたします)神戸開催・およびWEB開催での講演・配信はありません。
- ウェルカムパーティー・会員懇親会は実施いたしません。
- 共催セミナー/専門医共通講習のキャンセル・変更は可能ですが、事前予約でお支払いいただいた費用は、いかなる事情があっても返金や次年度年会費等への振替をいたしません。
- 事前予約者であっても、会期中に受付で参加登録(参加確定)が必要です。会期中の参加登録が受付時間内に行われなかった場合、参加単位及び筆頭演者発表単位は付与されません。WEB開催の閲覧も出来ません。
- 学術集会プログラム全般に「学術集会参加」が必須ですが、第361回ICD講習会のみ、学術集会登録なしで参加可能となります。(詳細はICD協議会URL<http://www.icdjc.jp/klist.html>を参照)
- 予約対象の講習会は同時開催のものに重複して申し込むことはできません。また、定員に達したプログラムには申込できません。申込後のコース変更等に関する詳細は申込画面案内をよくご確認ください。
- ネームカードについて  
第68回学術集会の正会員ネームカードはすべて受付にて当日出力となっております。
- ICカード(会員カード)について  
会期中受付での参加登録には、ICカード(会員カード)が必要です。入会されて間もない会員(未発行対象者)以外でお手元にない方は、4月12日(月)までに再発行申込をお願いいたします。会員カード再発行申請は「会員専用ページ」-「マイページ」-「プロフィール」-左メニューの「カード再発行申請」より申請してください。3,000円の有料発行となります。期日までの再発行申込者及び入会者には5月に発送いたします。ICカード(会員カード)をお持ちでない方は、会期中受付時に仮カード発行料金(1,000円)をお支払いいただけます。
- 学術集会参加登録時に写真付き証明書の提示が必須となります。
- 専門医共通講習の単位認定にはセッション会場への入退場時に会員カード(ICカード)をかざしていただきます。事前の登録及び最初から最後まで受講していただくことが厳密に求められますのでご注意ください。
- 神戸開催当日、会場での入会申込みはできません。  
学術集会参加単位、および専門医共通講習の単位取得を希望される方は、以下ページの「正会員として入会希望の方」をご参照のうえ、お手続きいただきますようお願いいたします。  
URL: [https://anesth.or.jp/users/person/member\\_guidance](https://anesth.or.jp/users/person/member_guidance)
- 撮影禁止について  
第68回学術集会も講演中の撮影・録画は禁止としております。ご協力ください。

## 4. プログラム集冊子発送(5月上旬)

- プログラム集は4月の会員登録情報の配送先に5月までに送付予定です。
- 配送先住所の変更があれば、お早めに会員情報を更新してください。
- プログラムは2月上旬から第68回学術集会ホームページ(<https://anesth-68thmeeting.org/>)に順次掲載いたしますので、ご確認ください。

### 第68回学術集会一般演題の採否結果を通知しました

第68回学術集会一般演題の採否結果を通知しました。  
投稿者の皆様は各自の演題投稿ページより結果をご確認ください。

#### — 確認方法 —

会員専用ページへログイン後、マイページを選択し「演題投稿」を選択。  
※ Medically Challenging Casesのみ神戸会場にて発表となります。  
その他の一般演題についてはWEB発表です。





## 「感染症」の臨床で学んだこと

KKR札幌医療センター 山根 真央

「先生 マスクの付け方間違っているよ」

病棟に赴いた際、患者さんから指摘され、マスクのずれに気がついた。

「よくご存知ですね」と応ずると「テレビでやっているから」と、患者さんはディスプレイを指差した。「感染症」の話題が放送されていた。内容は不顕性感染やBCG接種により免疫を獲得している人が多いという仮説の紹介だった。ふと、この患者さんと同じ経験をした「感染症」に罹患した人はどのように受け止めるだろうかと思いついた。

初夏の窓の外はポプラの綿毛が舞っている。まだ道端に雪が残る時期に、この患者さんを気管内挿管し、ECMO導入目的に市内の医育機関に搬送した。緊急事態宣言中で道路は空いており搬送は10分もかからず、オリンピックのマラソンのため黒々と舗装されたコースを走行した救急車は揺れも少なかった。その後患者さんは搬送先の方々の尽力でECMOを離脱し、当院に戻り人工呼吸器も不要となりICUを退室した。当院スタッフの貢献で、気管切開カニューレ抜去の日処がつくまで快復した時期のエピソードだった。

振り返れば、「感染症」はさまざまな症状を呈した。急性腎不全やフィブリノーゲン値が4桁の凝固能異常、嗅覚障害、SpO<sub>2</sub> 80%前半なのに呼吸苦がない例など。当初疑問に思っていたが、後に症例報告に接し、起こり得る病態なのだと思った。自分自身「夏には収束する」「免疫を獲得している」「特効薬がある」という諸説を内心期待していた。しかし12月現在の状況より結論は明白だと思う。切迫した先行き不透明な状況では楽観的な情報にすがりがちなこと、患者さんより教えられる点は症状からマスクの付け方まで幅広いと「感染症」の臨床で学んだ。

2021年内にはワクチン接種が普及して「感染症」が収束し、かつての日常が戻ってほしい。論文を執筆し新たな知見を発信する能力はないが、せめて、小稿にて先生方各位とこの思いを共有したい。

## With コロナにおける当院の取り組みに触れて

国立国際医療研究センター 服部 貢士

私が国立国際医療研究センター病院麻酔科に赴任し、まもなく1年を迎えます。医師10年目の節目に多くの貴重な経験が得られ、科長の長田先生をはじめ当院スタッフの先生方ならびに所属する東大麻酔科医局の諸先生に心より御礼申し上げます。

当院は、新宿区の戸山地区にあり緑が残る閑静な住宅街にありながら、東洋随一の歓楽街である歌舞伎町とは目と鼻の先で、住民も国際色豊かな、特色あふれる立地の三次医療機関です。同時にナショナルセンターとして大学病院とはまた異なる臨床・教育・研究の鼎立がはかられ、特に結核やHIV等の感染症領域では本邦を代表する機関です。そのため当科も、多様かつ高度な術式への対応・複雑な合併症管理・感染症に特化した麻酔対応・国籍や人種を問わず最適な医療の提供を特色としています。

さて新任まもなく、SARS-CoV-2感染症による緊急事態宣言が発表され、withコロナ最前線での日々が始まりました。本稿では当科での取り組みを紹介します。

手術室では、多くの病院と同様、手術患者全員にSARS-CoV-2のPCR検査を例外なく徹底し、緊急手術患者には60分で結果が判明するフィルムアレイ法を採用しています。また備蓄や寄付により、N95マスクを含め医療資源の欠品も避けることができました。発熱患者等の疑い症例は複数みられましたが、COVID-19陽性患者は緊急帝王切開等のわずか数例でした。感染経路に飛沫核感染が否定できない現状を考慮し、結核患者対応に準じた手術部内のゾーニングや動線確保を行い、個人用防護具の効果的な使用法の検討や、COVID-19陽性患者の手術を想定したシミュ

レーションを重ねました。特に、天井からの層流を用いた換気システムが、COVID-19陽性患者由来のエアロゾル排泄に有効であるとの調査結果を得て、これを踏まえた標準予防策を実施しています。こうした取り組みの結果、幸いなことに手術室に関する医療従事者・患者ともに院内感染例は認められていません。

このように当院の果たす社会的責務は大きいですが、やりがいある職場です。共に麻酔の研鑽に励む先生方をお待ちしております。

## コロナ禍でも旨い日本酒が飲みたい！

金沢大学附属病院 麻酔科蘇生科 松久 大希

コロナ禍で飲み会もすっかりなくなってさびしい毎日です。酒好きはうち飲みで嗜むしか楽しみがありません。ここ石川県は全国でも最高の酒造り技術をもつ杜氏の最高峰、四天王が生まれた酒処、うまい日本酒がたくさんあります。日本海に面して漁港があつて新鮮な海の幸が豊富でそれに合う日本酒が多く、酒蔵で造られます。甘い辛いでいうと、どちらかというと辛口で、脂ののった魚料理との相性がよく、互いに旨さを引き立てます。辛いと言ってもお米の甘さも残しつつ、たるさや雑味が後口に残らないように作られているように思います。冷でも熱燗でも美味しく頂けます。個人的には、冷で飲み口とろり、キリリとしたお米の香りがして喉にスッと入って後味すっきりのお酒が好みです。日本酒は、お米、水、麴、酵母、製造工程の無限の組み合わせと天候の影響、造り手の情熱でさまざま味わいのお酒が造られます。全国での日本酒消費量はここ20年で半減していますが、純米吟醸酒といわれる手間暇のかかった旨いお酒の消費量は横ばいという状況だそうです。どこにも旨いものには目がない酒好きは根強くいるようで、量よりも質を求めてやまない酒好きの熱い魂を感じます。旨い酒は必ずあるのでそれを探し当てるのが楽しみとなります。酒屋で相談しながら自分好みのお酒を入手するのが手取り早いと思います。どの酒屋も一見同じように見えますが、お米のどっしりした味わいの濃厚系やさっぱり辛口系などお店が得意とする趣向があり、同じ商品でも販売時期を数年ずらして熟成させたお酒を提供するお店もあります。足しげく通うことで自分好みの旨い酒はきっと見つかります。年中旨い酒を楽しむ贅沢、お気に入りの酒屋を見つけてみませんか？意外と近くにみつかるかも！早いコロナの収束を願いながら今夜もまた一杯、ク〜ったまらんです！。

## コロナICUと秘密基地

大阪大学医学部附属病院 集中治療部 内山 昭則

当院では29床のClosed General ICUを運営しており、病棟の4Fフロアは全てICUとなりかなり広く、私自身の机は医局から100m以上離れた目が届きにくい反対側の病棟内に置いています。そんな中、3月から私の机のある西側病棟10床をコロナ重症患者用のICUとすることになりました。ICU内ではゾーニングへの突貫工事が施行され、銀色の鉄骨が乱立し透明ボードが張り巡らされました。さながら動物園のようです。私にとっては自分の机付近のゾーニングをどうするか？の課題もありました。私専用の檻を作ってもらうのも時間も経費もかかりますし申し訳ありません。結局、ビニールハウス用透明シートを自分で私の机の付近にガムテープではりめぐらし、レッドゾーンの中にイエローゾーン、ブルーゾーンを確保しました。秋にはさらにゾーニング強化が必要になり、現在、私の机のあるブルーゾーンへの出入りには窓とベランダを利用しています。還暦にも手の届く男が窓から出入りする姿は外から見ればなかなか滑稽な姿でしょう。ただ、小さい頃あこがれた秘密基地のようだと私自身は内心、高揚しているところもあります。レッドゾーンに守られた城は業者などの奇襲攻撃にも守られ、逃げ道の裏口まであります。秘密基地の中ではお弁当も食べられ、コロナ重症患者から世界で最も近い距離でコーヒを飲んでいるのかも？と考えたりしています。

最後にこれから重症コロナの診療に携われる方へ簡単なアドバイスを。コロナは自分で治るので根気よく“待つ”のが大事です。時間を要しますが、高齢、慢性透析や慢性呼吸不全だけではなく臓器移植待機、臓器移植後、免疫不全、末期癌などの難しい患者も治りました。病勢のコントロールには腹臥位を含む適切な呼吸管理と慎重なステロイドの使用が有効な様です。種々の感染症を含むいろんな合併症が起りますのでご注意ください。また、きちんとしたPPEで、もちろん、安全に診療できます。

## 2020年度の年会費をお支払ください

2020年度年会費の支払締切日(2020年9月30日(水))が過ぎております。  
まだお支払でない方は、至急お支払ください。

会員専用ページのマイページ「プロフィール」内、左側メニューボタン「年会費支払照会」より画面に従ってお手続きください。

### —ご周知ください—

## 2020年度かつ前年度の2019年度年会費未納の方へ

- 2020年9月30日(水)に2019年度年会費に未納があった方は、「学会の発行する会員向けの印刷物及び電子的情報の配布を受ける権利」「学会認定医、学会専門医、機構専門医、学会指導医等の資格の申請をする権利」を停止させていただきます。2年度分を完納いただければ権利は復活します。
- 2021年3月31日に2019年度年会費に未納がある方は、2021年3月31日時点で退会となります。再度会員になる場合は入会の手続きを行っていただく必要があります。ただし再入会時に従前の認定資格は復活せず、再度取得となりますのでご留意ください。

## 領収書について

会員専用ページのマイページ「プロフィール」内、左側メニューボタン「領収書発行」より画面に従って出力ください。(1回のみ出力可能です)

※年会費以外の領収書発行についても同様に発行いただけます。

ただし、e-Learningの領収書は、マイページ「e-Learning」内、受講ページ「領収書発行」より発行いただけます。

## 会員(IC)カード発行について

第68回学術集会に間に合う会員(IC)カード申込期日は2021年4月12日(月)となります。期日までの再発行申込者及び入会者には年次学術集会開催までに発送いたします。期日以降の再発行申込者及び入会者には9月下旬に発送する予定でございます。会員(IC)カードは学術集会での参加登録(チェックイン・会期中に1回必須)、単位を取得される講習の入退室に必要です。紛失された方は会員専用ページのマイページ内「プロフィール」、左側メニューボタン「カード再発行申請」からお手続きを行ってください。当日お持ちでない場合は、会場で会期中使用可能なカードを有料発行いただきます。

### —ご周知ください—

## 入会について

毎月10日までにWEB申込及び必要書類の提出が完了している方を審査し、同月15日付けで入会承認可否のメールをいたします。承認された方はメールに記載されたURLから、期日までにクレジット決済で年会費を入金していただくことになり、入金完了時点で会員となります。

※一旦退会後、再度会員になる際も前述の手続きで再入会申込を行ってください。直近の退会時点で未納年会費がある場合、こちらと合わせて入会年度の年会費をお支払いいただき、再入会となります。ただし、認定資格は再入会しても復活しません。取得し直していただく必要があります。

※学術集会の会員として単位付与される一般演題応募、事前予約や専門医機構関連講習申込みやそのシステム利用、参加登録は、申し込み時点や参加時点で入会の手続き(申請～支払い)を完了された方に限ります。

尚、第68回学術集会当日の入会申込みはできません。第68回学術集会は現地とWEBで開催予定ですが、会員として現地参加等をされる場合は2021年4月10日までに入会手続きが必要となります。

# 医師賠償責任保険のご案内

## 医師賠償責任保険(団体割引)の送付時期

弊会会員向けの医師賠償責任保険(団体割引)に関する更新のご案内書類を、2021年1月末頃に会員の皆様へ送付いたしました。

各自お手続きをお願いいたします。また、弊会会員向けの医師賠償責任保険は入会後に適用されます。

## 日本麻酔科学会へ新入会を検討されている方へ

医師賠償責任保険を2021年4月1日から適用したい場合、まず日本麻酔科学会への入会手続きをお済ませください。

2021年3月10日(水)17時(必着)までに申込及び書類をご提出ください。

→3月15日(月)に、承認の有無をご連絡いたします。

→承認通知をご確認後、3月29日(月)までに2020年度年会費を入金してください。期日までに入金振り込みを確認できない場合は、4月1日からの適用はできません。

なお、2021年4月以降は、通常どおり2021年度の年会費支払が必要となります。

また、2021年4月以降に入会した場合、保険は入会後の適用となりますので4月1日にさかのぼっての適用はできません。(団体割引に関する保険会社規定により)

上記以外のその他保険に関する詳細事項・お問い合わせにつきましては、ご案内しております各保険会社にお問い合わせください。



## 社会保険部会員の公募について

総務委員長 齋藤 繁  
社会保険部会長 森崎 浩

総務委員会下で活動している社会保険部会では、麻酔科診療に関連する診療報酬改定を始め、年次学術集会時に診療報酬フォーラム開催、外保連麻酔試案作成等、診療報酬に関連する様々な業務を行っております。

この度、私共と共に診療報酬に関連する知識を深め、様々な立場から部会活動を担っていただく方を会員より公募いたします。興味を持たれた方は、会員HPより所定の履歴書をダウンロードいただき、期間内にご提出ください。

皆様からのご応募、心よりお待ちしております。

### 公募期間

2021年2月1日(月)～2021年2月25日(木)

### 募集対象

正会員

### 応募方法

詳細は学会ホームページをご確認ください。

## 編集後記

2020年度の最後の日本麻酔科学会News Letterです。2020年は新型コロナウイルス感染症の関連で皆さま大変な思いをされていることと思います。学術集会の開催についても大変ご苦労されていることと思います。更に新型コロナウイルス感染症の第3波の到来により緊急事態宣言も出されています。集中治療室を含め重症患者管理などに当たっては多くの会員の先生方のご尽力に対し、心より感謝いたします。

2019年度からご就任された小坂橋俊哉理事長のもと、現在の広報委員会で活動させていただいています。広報委員会企画として様々な新しい取り組みも計画していましたが、残念ながら新型コロナウイルス感染症の関連で一時延期という状況になっております。取り組みの一つとして、初期研修医基本手技教育動画作成を検討しています。麻酔科の初期研修期間が短縮される傾向にありますので、わかりやすい動画を初期研修医に見てもらうことで効率よく基本的な知識や技能を学べ、現場の指導医の先生の負担を軽減できればと考えています。結果、基本的な医療の質向上に貢献できるとともに、麻酔科の重要性のアピールになればと考えています。また、市民の皆さんからは麻酔の日にエッセイ募集を実施する予定です。手術麻酔に加え、ペインクリニック、緩和ケア、集中治療などに関し、麻酔科医との心に残る体験をご応募いただきます。麻酔科関連診療の広報や診療へのフィードバックになればと考えています。ただ、麻酔科に関連しては、研究不正の問題や倫理的問題など報道されており、今一度襟を正して、適正な活動を心掛ける必要があると考えています。

まだまだ大変な時期も続くかと思いますが、会員の皆さんにおかれましては、どうぞご自愛いただければと思います。

(広報委員長 川口昌彦)

## 公益社団法人 日本麻酔科学会

# NEWS LETTER

2021 Vol.29 no.1

<https://anesth.or.jp>

2021年2月19日発行

©Japanese Society of Anesthesiologists

本誌掲載記事の著作権は全て(公社)日本麻酔科学会に帰属いたします。  
無断複製・転載を禁じます。

### ◆編集・発行 (公社)日本麻酔科学会 広報委員会

[広報委員長] 川口 昌彦

[広報副委員長] 水野 圭一郎

[広報委員] 讃岐 美智義、渋谷 博美、鈴木 昭広、角倉 弘行

〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町1丁目5番2号

神戸キメックセンタービル3階

TEL:(代表)078-306-5945

(認定関連問合せ専用ダイヤル)078-335-6078

FAX:078-306-5946

◆制作 株式会社杏林舎

〒114-0024 東京都北区西ヶ原3-46-10

TEL:03-3910-4311 FAX:03-3949-0230